

## (4)24時間対応してほしい

|                               |                                  |
|-------------------------------|----------------------------------|
| <b>介</b> 定期巡回・随時対応型<br>訪問介護看護 | 日中・夜間を通じて、定期巡回と随時対応による訪問介護・看護を実施 |
|-------------------------------|----------------------------------|


## (5)入所施設を探したい


介護保険サービス以外の施設もありますが、認知症の状態により入居が困難な場合もあります。契約時に今後のことも相談・確認しておくで安心です。


|  |   |   |
|--|---|---|
| 有料老人ホーム                                | 民間事業者によってさまざまなサービス内容がある施設   | 各施設または<br>公益社団法人全国<br>有料老人ホーム協会<br>☎3548-1077<br>(月～金曜午前10時<br>～午後5時) |
| 軽費老人ホーム                                | 食事と日常生活の支援をするA型、見守りのみのB型、自炊ができない程度の身体機能の低下のある方が対象のケアハウス、都市型の4種類（60歳以上が対象） | 各施設へ  |
| サービス付き<br>高齢者向け住宅                      | バリアフリーの設備で、介護スタッフが少なくとも日中は常駐し、生活相談や安否確認などを提供している民間賃貸住宅                    | 各施設へ  |
| 養護老人ホーム                                | 65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅において生活することが困難な方が入所する施設<br>(入所判定があります)           | 長寿社会推進課<br>高齢者相談係<br>☎3579-2464                                       |
| <b>介</b> 介護老人福祉施設<br>(特別養護老人ホーム)       | 常時介護が必要で、居宅での生活が困難な方のための施設  | ケアマネジャーと<br>ご相談ください   |
| <b>介</b> 介護老人保健施設                      | 病状が安定し、リハビリを中心とする医療ケアと介護を必要とする場合の施設                                       |   |
| <b>介</b> 介護療養型医療施設                     | 比較的長期にわたって療養を必要とする場合の施設<br>医療・看護・介護・リハビリの提供                               |   |
| <b>介</b> 介護医療院                         | 長期の療養が必要な方に対し、療養上の管理、看護、医学的管理下による介護、医療および日常生活上の支援を提供する施設                  |   |
| <b>介</b> 認知症対応型共同<br>生活介護<br>(グループホーム) | 食事や入浴などの介護や機能訓練をおこなう共同生活住宅  |   |
| <b>介</b> 地域密着型<br>特定施設入居者<br>生活介護      | 日常生活の支援やリハビリをする定員30名未満の小規模有料老人ホーム   |   |

## コラム⑥ お互いが笑顔でいるために～接し方のポイント～

認知症の症状は、その人の価値観や背景によって異なります。本人の気持ちやペースに合わせて、出来る範囲で焦らず、時には人に頼りつつ接しましょう。

- ①「財布を盗られた！」  


自分が無くしたことを忘れて「盗まれた」と思いこんでしまうことがあります。否定はせず、不安な気持ちを共有して一緒に探しましょう。本人に見つけてもらい、一緒に喜ぶことで安心につながるがあります。
- ②「あなたはどなた？」  


身近な人を忘れて、自分の両親や恩師など他人と間違えてしまうことがあります。無理に正さず、その人物になりきって返答すると、安心につながるがあります。
- ③「今日は何月何日？」  


「時間や場所を正しく認識できているか」という不安から何度も尋ねることがあります。「何度も聞かないで」など、怒ることなく、見やすい場所にメモを置くなど、不安を和らげる方法を考えてみましょう。